

# 誰ひとり取り残さないまち「こまつしま」を目指して

## ～4月から重層的支援体制整備事業がスタートします～

全国的に、少子高齢化がすすみ、高齢者だけの世帯やひとり世帯が増加したこと等により、家族や地域の支え合い機能が低下しています。また、離職や経済的問題、社会的孤立などさまざまな問題が複合的に存在し、さらにそれが長期化することで、本人も家族も地域や社会からますます孤立していく状況にあります。例えば、高齢の親とひきこもり状態にある子どもの同居世帯が抱える「8050問題」や介護と育児など複数のケアが家族や親族等で同時に発生している「ダブルケア」状態など、家庭の中で複数の課題を抱えたケースが増加しており、既存の分野ごとの支援体制では、支援が困難になってきています。

小松島市では、こういった住民等をそのままにしないために、行政、住民、各支援機関等が一体となった包括的な支援体制を構築する「重層的支援体制整備事業」に取り組みます。

### ご存知ですか？「相談支援包括化推進員」

「相談支援包括化推進員」は、高齢者・障がい者・子ども・子育て世代・生活困窮者など属性を問わない支援をするために、相談を受け止めて、各支援機関同士をつないだり、コーディネートする役割を担っています。

いろいろな問題が重なっていて1つの支援機関では解決することが難しい、どこに相談すればいいのかわからないという場合は、市社会福祉協議会（☎33・2255）にまずご相談ください。

#### 相談

窓口では来所または電話などによる相談に応じています。本人はもちろん家族も相談できます。相談料は無料で、相談内容の秘密は守られます。

#### 支援

相談内容に応じた適切な対応ができるように関係機関と連携し、本人の状態や意向などを踏まえた目標を設定し、その人に合わせた段階的な支援を行います。家族にも相談員から助言を行うほか、同様の課題を抱える家族との交流の場を設けるなどの支援を行います。



### 相談支援包括化推進員からのメッセージ

子どもから高齢者まで全ての方がこの事業の対象です。一つの福祉サービスだけではフォローしきれない、地域から孤立してしまいがちな人たちを取り残さないようにしようということが地域共生社会の理念です。困りごとがある方にはぜひ相談に来てもらいたいですし、隣の住民に異変を感じるがあったら地域の方からも声を上げて欲しいと思います。

今、自分でこのままではいけないと思いながらも、動けない、外に出ることが怖い、そういった気持ちを抱えていませんか。私たちは組織を超えて支援していきます。自分のこととして一緒に考え伴走し、少しでも解決につなげていきたいと思っています。まずはご相談ください。

## 「重層的支援体制整備事業」で、社会とのつながりが希薄となっている方やその家族の社会参加へ向けた支援を行う「参加支援事業」を新たにはじめます

### ちょっと参加してみませんか？

参加支援事業では、週1回1時間程度のおひとりでも気軽に参加いただけるメニューを予定しています。

就労するにも仕事のイメージがつかないなといった方や社会とのつながりを持ちたい方はご相談ください。

地域とのつながりを少しずつ作りながら、社会参加に向けて、心を整えていきませんか？

お越しいただいた方に、安心して時間を過ごしてもらえような場所を目指しています。

こまつしま生活自立支援センター（☎0120・783・141）までお問い合わせください。

